

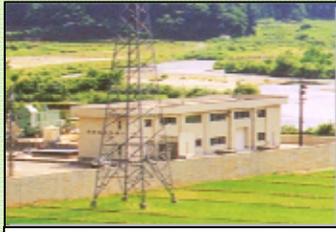
至秋田県

対象区域

消流雪用水区域 A=139 ha

清水揚水機場から対象区域

到達時間は約1時間



清水揚水機場 外観



用水路内部(パイプライン)

至宮城県

至酒田市

国営第1号幹線用水路

亀割バイパス

至山形市

新庄駅

最上川

春から夏にかけて、新庄市全域の水田へ水を行き渡らせている清水揚水機場。最上川から取水された水は、大型ポンプで約一〇〇mもの貯水槽へ垂直に揚げられた後、大人も立って入ることができるほど大きなパイプラインを通り、およそ二十キロメートル先の新庄市内へと到達している、夏場の稲作営農には必要不可欠なものだ。

そんな揚水機場も農業用水の不要な冬期間は休業となるため、毎年水不足に悩んでいた流雪溝に活用すべく消流雪事業は始まったのである。

住宅が密集した、広い敷地のない市街地では、雪を置いておくスペースがとれず、側溝に捨てるしか雪を片づける方法がない。

次々と降る雪を片づける為に、側溝へ流れてくる水は雪かきの能率を格段に上げ、人々の冬の生活に無くてはならない存在だ。

夏は農業用水、冬は消流雪用水として、母なる川 最上川はいつも私たちの暮らしに寄り沿ってくれている。



問い合わせ先 新庄市役所 都市整備課

Tel : 0233-22-2111 (代表)



新庄市の降雪記録(積雪深)

雪のある暮らしと

農業水利施設の活用

消流雪

雪国としても知られるここ山形の地では、降り積もる雪とともに毎年長い冬を過ごす。特に豪雪地帯である最上地方、新庄市の人々も例外ではない、日々の生活の中で雪かき作業は大きなウェイトを占めている。

そんな市民の日常の負担を少しでも減らすことができればと始められたのが、農業水利施設を活用した新庄市消流雪用水事業である。

全国でもあまりみられない大型ポンプの設備『清水揚水機場』を利用して、最上川から市街地の水路まで水を届けている。

